

# 2025年7月30日 ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震

## (1) 概要<sup>(注1)</sup>

2025年7月30日08時24分(日本時間、以下同じ)に、ロシア、カムチャツカ半島東方沖の深さ35kmで Mw8.8 (Mwは気象庁による)の地震(日本国内で観測された最大の揺れは震度2)が発生した。この地震の発震機構(気象庁によるCMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。この地震により、岩手県の久慈港<sup>(注2)</sup>で1.4m<sup>(注3)</sup>、鹿児島県の奄美市小湊で0.6m<sup>(注3)</sup>(観測値はいずれも速報値)の津波を観測するなど、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した。また、海外においても、ハワイのマウイ島で1.74mなどの津波を観測した。

気象庁はこの地震に対して、同日08時37分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、宮崎県及び小笠原諸島に津波注意報を発表(発表時はM8.0、太平洋津波警報センター(PTWC)による)し、同日09時40分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、伊豆諸島及び小笠原諸島を津波警報に切り替えた(発表時はM8.7、太平洋津波警報センター(PTWC)による)。その後、同日18時30分に一部津波注意報に切り替えて、同日20時45分に津波注意報に切り替えて、31日10時45分に津波注意報を一部解除し、31日16時30分に解除した。

今回の地震により、日本国内で死者1人、負傷者12人の被害が生じた(2025年8月1日08時00分現在、総務省消防庁による)。

この地震による被害状況を表1-1に、気象庁が発表した主な情報及び報道発表を表1-2に示す。

表1-1 2025年7月30日のロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震による被害状況  
(2025年8月1日08時00分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人的被害				住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
人	人	人	人	棟	棟	棟	
北海道			1	10			
三重県	1						
宮崎県				1			
合計	1		1	11			

(注1) 震源要素は、米国地質調査所(USGS)による(2025年8月6日現在)。ただし、2025年7月30日08時24分の地震のMw及び発震機構は、気象庁による。海外の津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2025年8月7日現在)。

(注2) 国土交通省港湾局の観測施設。

(注3) 観測値は後日の精査により変更される場合がある。

## (2) 地震活動

### ア. 最近の地震活動 (注4)

2025年7月30日08時24分にロシア、カムチャツカ半島東方沖の深さ35kmでMw8.8 (Mwは気象庁による) の地震 (日本国内で観測された最大の揺れは震度2) が発生した。この地震の発震機構 (気象庁によるCMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと北米プレートの境界で発生した。また、今回の地震の震央付近では、2025年7月20日15時28分にMw6.7の地震が、同日15時49分にMw7.5の地震が発生 (MwはともにGlobal CMTによる) し、地震活動が活発になった。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (図2-1の領域a) ではM7.0以上の地震が時々発生しており、1997年12月5日にはカムチャツカ半島東方沖でMw7.8 (MwはGlobal CMTによる) の地震があった。

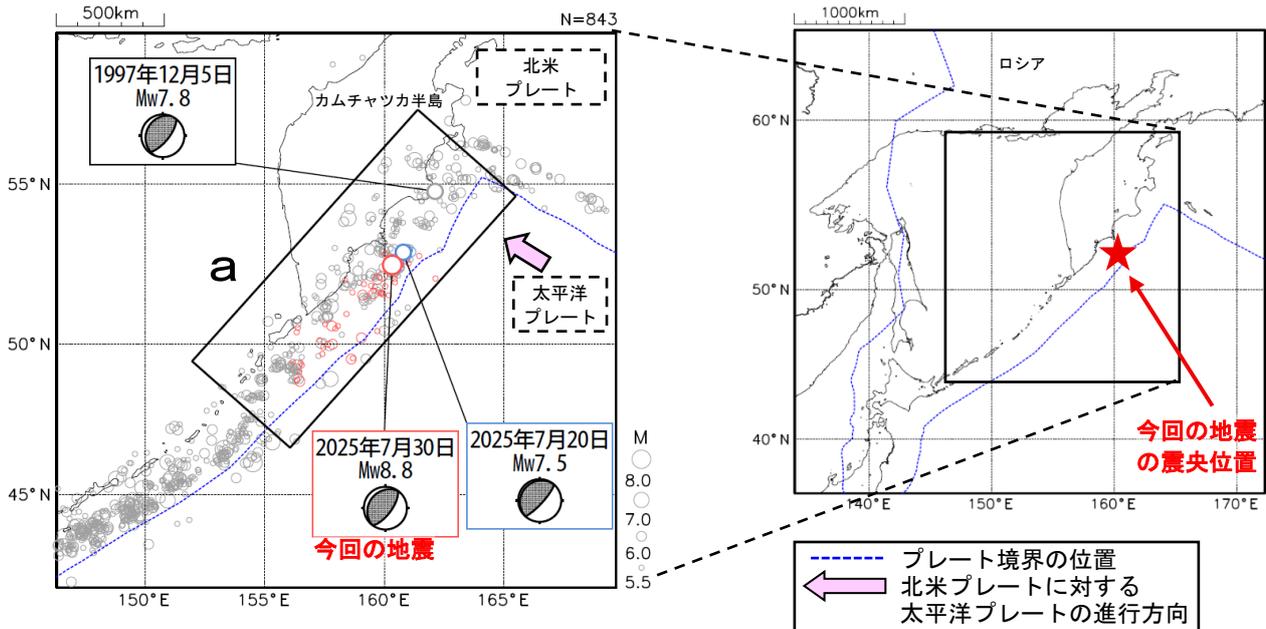


図2-1 震央分布図 (1980年1月1日~2025年8月4日、深さ0~200km、 $M \geq 5.5$ )  
2025年7月20日~30日08時23分の地震を青色、  
7月30日08時24分以降の地震を赤色で表示

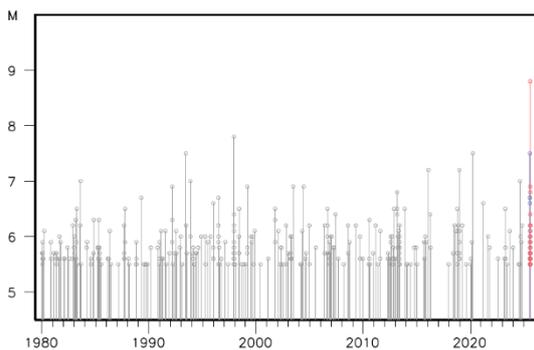


図2-2 図2-1の領域a内のM-T図

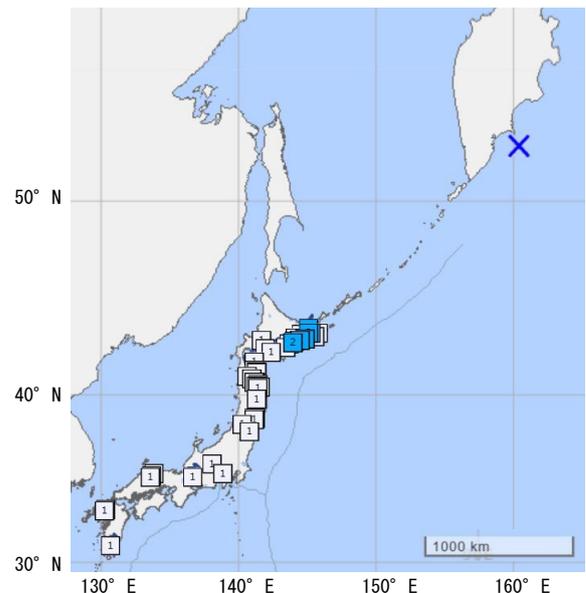


図2-3 震度分布図

(注4) 震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11 (1904-2020)、2021年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2025年8月6日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震のうち、2025年7月30日08時24分の地震のMw及び発震機構は気象庁による、それ以外の地震のMw及び発震機構はGlobal CMTによる。プレート境界の位置はBird (2003) \*1より引用。

\*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

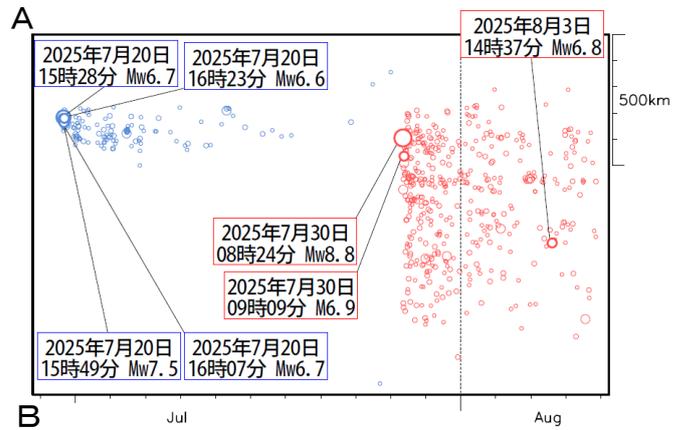
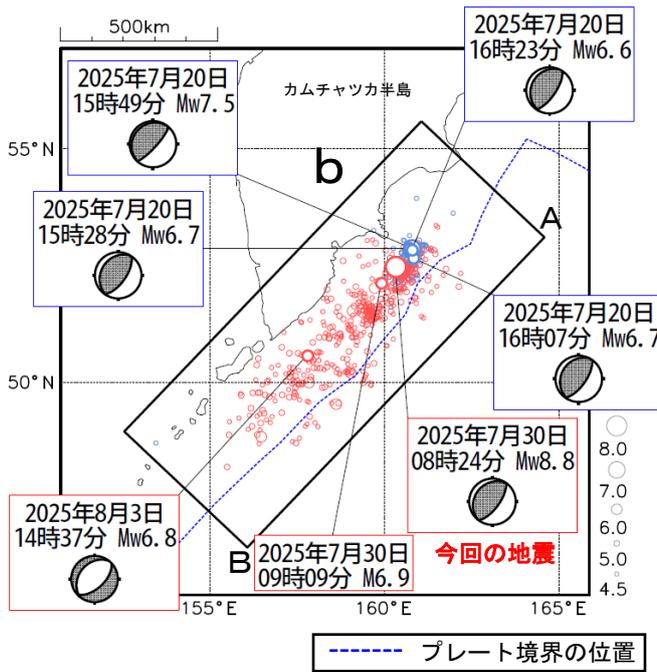


図 2-5 図 2-4 の領域 b 内の  
時空間分布図 (A-B 投影)

図 2-4 図 2-1 の震央周辺の拡大図  
(2025年7月20日～8月4日、深さ0～200km、 $M \geq 4.5$ )  
2025年7月20日～30日08時23分の地震を青色、  
7月30日08時24分以降の地震を赤色で表示

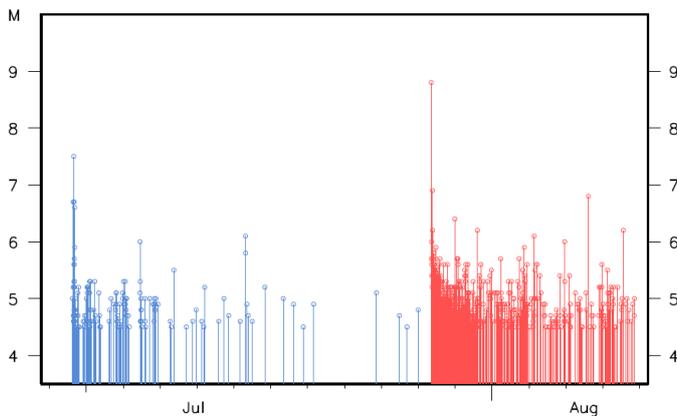


図 2-6 図 2-4 の領域 b 内の M-T 図

## (2) 地震活動

### ウ. 過去に発生した主な地震 (注6)

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近では、M7.0以上の地震が時々発生している。

1923年2月4日にはロシア、カムチャツカ半島東岸でM8.4の地震が発生し、死者が発生するなどの被害を生じた(被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による)。

1952年11月5日にはロシア、カムチャツカ半島東方沖でM9.0の地震が発生し、北海道から九州の太平洋沿岸を中心に津波を観測した。各地で家屋の浸水があり、計1200戸に達するなどの被害を生じた(被害は、「日本被害地震総覧」による)。

2006年11月15日に千島列島東方で発生したMw8.3の地震(MwはGlobal CMTによる)では、北海道で震度2の揺れを観測したほか、三宅島坪田で84cmなど、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

2007年1月13日の千島列島東方で発生したMw8.1の地震(MwはGlobal CMTによる)では、北海道から東北地方にかけて震度3の揺れを観測したほか、三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。

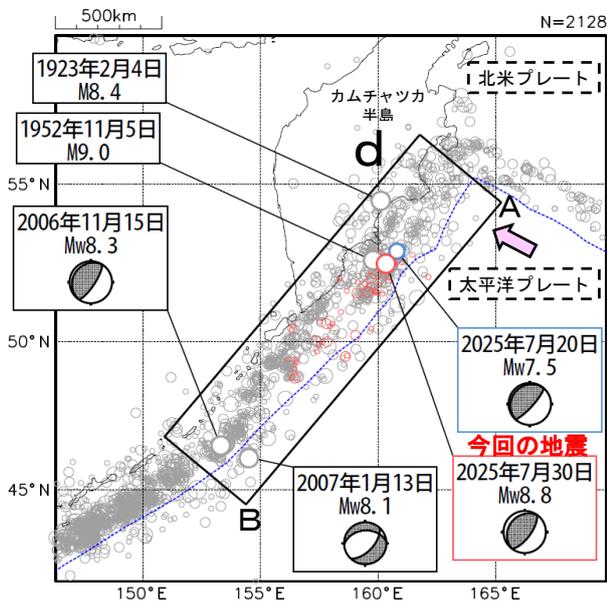


図2-8 震央分布図(1904年1月1日~2025年8月4日、深さ0~200km、M<sub>w</sub>≥5.5)  
2025年7月20日~30日08時23分の地震を青色、  
7月30日08時24分以降の地震を赤色で表示

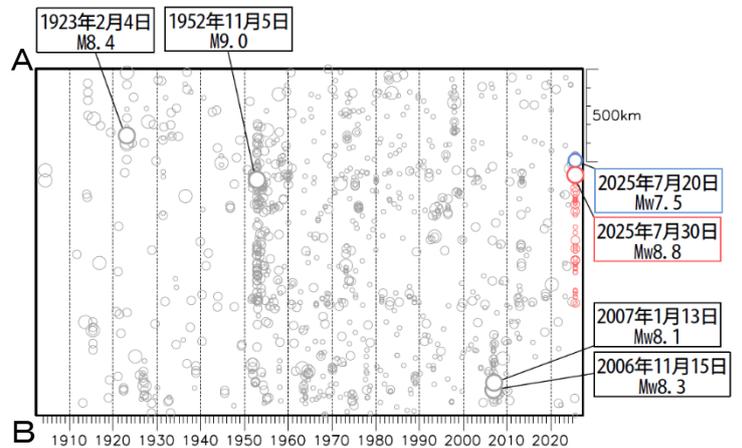


図2-9 図2-8の領域d内の  
時空間分布図(A-B投影)

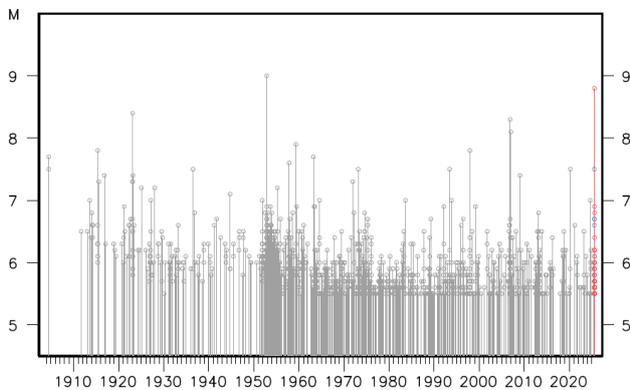
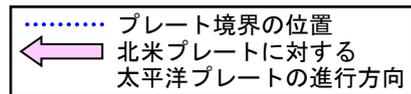


図2-10 図2-8の領域d内のM-T図

(注6) 震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11 (1904-2020)、2021年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年8月6日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震のうち、1952年11月5日の地震のMはUSGS、2006年11月15日、2007年1月13日及び2025年7月20日の地震のM<sub>w</sub>はGlobal CMTによる。2025年7月30日の地震のM<sub>w</sub>及び発震機構は気象庁による。なお、1904年から1959年ころまでの地震の検知能力はM6.0程度である。プレート境界の位置はBird(2003)\*1より引用。

\*1参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

(3) 津波

ア. 2025年7月30日08時24分 ロシア、カムチャツカ半島東方沖の地震 (Mw8.8)

この地震により、岩手県の久慈港（国土交通省港湾局）で最大1.4m（速報値）の津波を観測したほか、太平洋沿岸を中心に北海道から沖縄県にかけて広い範囲で津波を観測した。なお、気象庁は、この地震に対して、同日08時37分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、宮崎県及び小笠原諸島に津波注意報を発表（発表時はM8.0、太平洋津波警報センター(PTWC)による）し、同日09時40分に北海道から近畿地方の太平洋沿岸、伊豆諸島及び小笠原諸島を津波警報に切り替えた（発表時はM8.7、太平洋津波警報センター(PTWC)による）。その後、同日18時30分に一部津波注意報に切り替えて、同日20時45分に津波注意報に切り替えて、31日10時45分に津波注意報を一部解除し、31日16時30分に解除した。

表3-1 日本国内の津波観測値（速報値）

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ(m)
北海道	釧路	気象庁	30日 10:30	30日 19:50	0.5
	根室市花咲	気象庁	30日 10:17	30日 14:57	0.8
	浜中町霧多布港	国土交通省港湾局	30日 10:21	30日 13:11	0.6
	浦河	国土交通省港湾局	30日 10:50	30日 19:39	0.2
	十勝港	国土交通省港湾局	30日 10:32	31日 01:18	0.7
	えりも町庶野(*1)	気象庁	30日 10:28	30日 21:14	0.6
	函館	気象庁	30日 11:17	30日 19:00	0.5
	苫小牧西港	国土交通省港湾局	--日 --:--	30日 19:11	0.4
	苫小牧東港	国土交通省港湾局	30日 11:10	30日 19:04	0.5
	白老港	国土交通省港湾局	30日 11:05	30日 22:23	0.3
	室蘭港	国土交通省港湾局	30日 11:20	31日 03:23	0.2
	稚内	気象庁	--日 --:--	31日 02:18	0.4
	留萌	国土交通省港湾局	--日 --:--	30日 17:41	0.2
	小樽	気象庁	--日 --:--	31日 05:15	0.2
	石狩湾新港	国土交通省港湾局	--日 --:--	31日 05:24	0.2
	網走	気象庁	30日 10:37	30日 15:50	0.3
	枝幸港	国土交通省港湾局	30日 11:13	30日 21:39	0.4
	紋別港	国土交通省港湾局	30日 11:01	31日 03:32	0.4
青森県	竜飛	海上保安庁	30日 11:19	30日 14:11	0.1
	むつ市関根浜	気象庁	30日 10:57	31日 00:27	0.4
	むつ小川原港	国土交通省港湾局	30日 10:45	30日 18:50	0.4
	八戸港	国土交通省港湾局	30日 10:52	30日 19:16	0.8
	青森	国土交通省港湾局	30日 11:01	30日 21:23	0.2
岩手県	宮古	気象庁	30日 10:41	30日 15:29	0.5
	大船渡	気象庁	30日 10:48	30日 18:00	0.4
	釜石	海上保安庁	30日 10:40	30日 14:13	0.5
	久慈港	国土交通省港湾局	30日 10:44	30日 13:52	1.4
宮城県	石巻市鮎川	気象庁	30日 10:57	30日 19:09	0.5

宮城県	仙台港	国土交通省港湾局	30日 11:38	30日 23:20	0.9
	石巻港	国土交通省港湾局	30日 11:28	30日 21:03	0.7
福島県	いわき市小名浜	気象庁	30日 11:09	31日 00:26	0.5
	相馬	国土地理院	30日 11:33	30日 21:57	0.7
茨城県	大洗 (*1)	気象庁	30日 11:15	31日 02:27	0.7
	神栖市鹿島港	国土交通省港湾局	30日 11:18	30日 20:47	0.8
千葉県	銚子	千葉県	30日 11:09	30日 15:45	0.3
	勝浦市興津 (*1)	気象庁	30日 11:09	30日 23:29	0.4
	館山市布良	気象庁	30日 11:05	30日 20:05	0.6
	千葉	海上保安庁	30日 12:32	30日 13:08	0.2
東京都	東京晴海	気象庁	30日 12:37	30日 14:15	0.2
	伊豆大島岡田	気象庁	30日 11:17	30日 18:19	0.1
	三宅島坪田	気象庁	30日 11:09	30日 15:56	0.5
	八丈島八重根 (*1)	気象庁	--日 --:--	30日 16:19	0.8
	神津島神津島港	海上保安庁	30日 11:31	30日 22:16	0.5
	八丈島神湊	海上保安庁	30日 11:14	30日 15:27	0.5
	父島二見	気象庁	30日 11:57	30日 15:19	0.4
神奈川県	横須賀	海上保安庁	30日 11:40	30日 14:13	0.2
	横浜	海上保安庁	30日 12:03	30日 13:40	0.3
	小田原	気象庁	30日 11:24	30日 11:45	0.1
	三浦市三崎漁港 (*1)	気象庁	30日 11:22	30日 15:19	0.2
	三浦市油壺	国土地理院	30日 11:22	30日 22:08	0.2
静岡県	沼津市内浦	気象庁	30日 11:52	30日 21:48	0.4
	御前崎	気象庁	30日 11:51	30日 21:50	0.4
	南伊豆町手石港	気象庁	30日 11:35	30日 21:40	0.4
	下田港	国土交通省港湾局	30日 11:22	31日 00:06	0.6
	伊東	国土地理院	30日 11:21	30日 11:46	0.2
	焼津	国土地理院	30日 11:45	30日 17:32	0.3
愛知県	田原市赤羽根	気象庁	30日 12:11	30日 22:54	0.5
	名古屋	気象庁	30日 13:29	30日 15:37	0.2
	半田市衣浦	愛知県	30日 13:14	30日 20:15	0.2
	豊橋市三河港	国土交通省港湾局	30日 13:18	30日 15:03	0.2
三重県	四日市	四日市港管理組合	30日 13:20	30日 20:18	0.1
	鳥羽	気象庁	30日 12:23	30日 23:27	0.4
	尾鷲	気象庁	30日 12:08	30日 17:22	0.4
	熊野市遊木	気象庁	30日 12:06	31日 01:46	0.2
大阪府	大阪天保山	気象庁	--日 --:--	30日 18:01	0.3
和歌山県	那智勝浦町浦神	気象庁	30日 12:14	30日 22:20	0.3
	串本町袋港	気象庁	30日 12:17	30日 20:54	0.5
	和歌山	気象庁	30日 13:07	30日 18:36	0.3
	御坊市祓井戸	気象庁	30日 12:31	30日 18:07	0.4
	白浜町堅田	気象庁	30日 12:30	30日 16:30	0.3
徳島県	小松島	気象庁	30日 13:03	31日 01:31	0.2

徳島県	徳島由岐	気象庁	30日 12:30	31日 03:21	0.4
愛媛県	宇和島	気象庁	30日 13:31	30日 19:32	0.1
高知県	室戸市室戸岬	気象庁	30日 12:25	30日 22:51	0.5
	高知	気象庁	30日 12:49	30日 19:02	0.2
	土佐清水	気象庁	30日 12:45	31日 04:07	0.6
	中土佐町久礼港	国土地理院	30日 12:53	30日 17:35	0.4
大分県	大分	海上保安庁	30日 13:59	30日 18:43	0.1
	別府港	国土交通省港湾局	30日 14:01	30日 16:25	0.1
	佐伯市松浦	気象庁	30日 13:05	30日 21:24	0.2
宮崎県	日向市細島	宮崎県	30日 12:40	31日 00:59	0.2
	日南市油津	気象庁	30日 12:56	30日 20:18	0.4
	宮崎港	国土交通省港湾局	30日 13:04	31日 05:40	0.5
鹿児島県	南大隅町大泊	海上保安庁	30日 13:15	30日 17:48	0.4
	志布志港	国土交通省港湾局	30日 13:11	31日 06:39	0.5
	種子島西之表	海上保安庁	30日 13:13	30日 17:39	0.3
	種子島熊野	気象庁	30日 12:58	30日 17:13	0.5
	中之島	海上保安庁	--日 --:--	30日 18:20	0.4
	奄美市小湊	気象庁	30日 13:19	30日 16:31	0.6
	奄美市名瀬	海上保安庁	30日 13:23	30日 16:33	0.4
	枕崎	気象庁	30日 13:52	30日 18:26	0.5
沖縄県	那覇	気象庁	30日 13:57	31日 06:38	0.1
	沖縄市中城湾港	国土交通省港湾局	30日 13:33	30日 22:55	0.1
	石垣島石垣港	気象庁	--日 --:--	30日 22:49	0.1
	宮古島平良	国土交通省港湾局	30日 14:27	31日 01:16	0.2

- は値が決定できないことを示す。  
 ※観測値は速報値であり、後日の精査により変更される場合がある。  
 ※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。  
 \*1 は巨大津波観測計により観測されたことを示す。

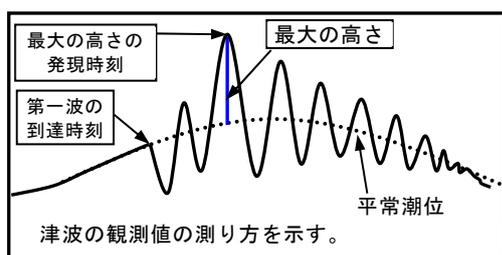


図3-1 津波の測り方の模式

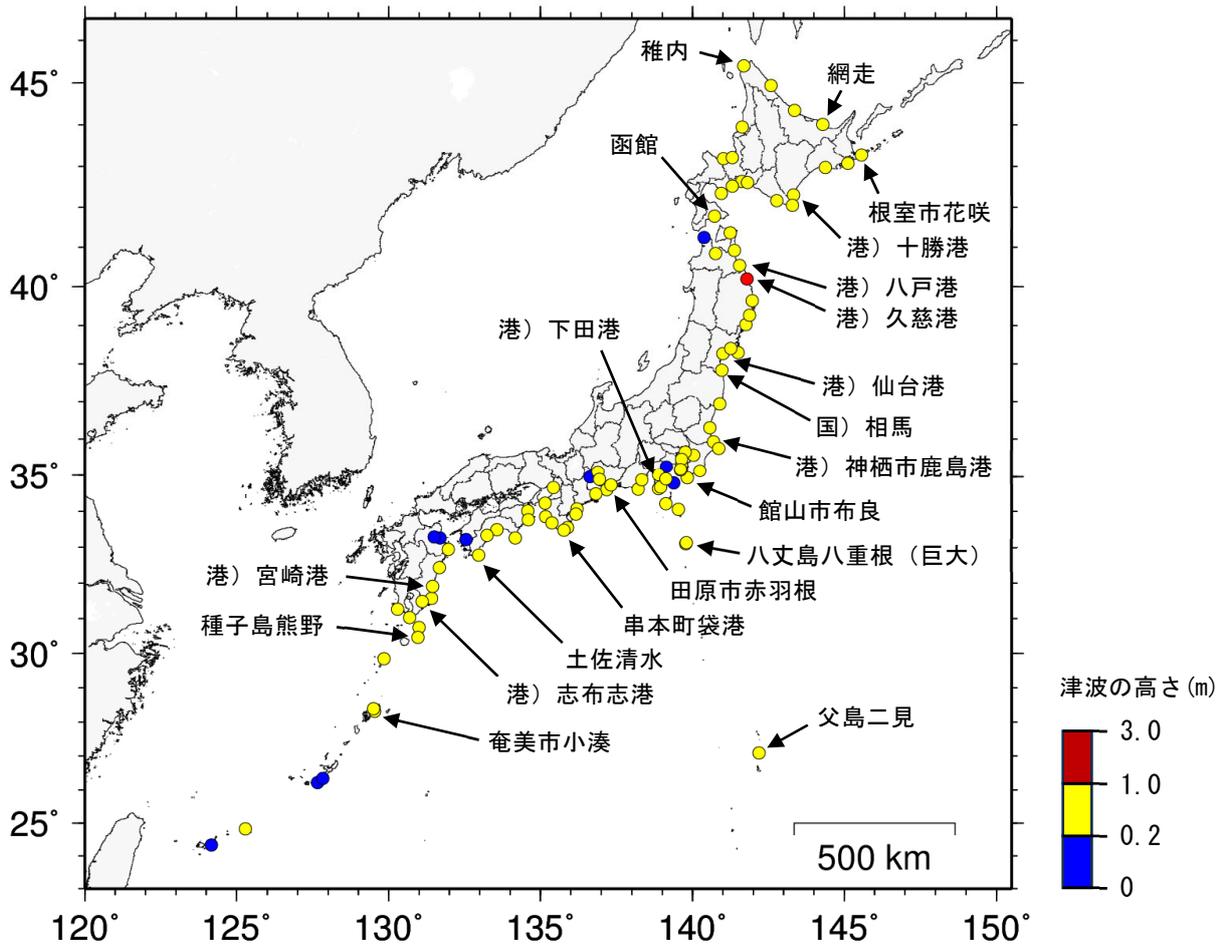


図3-2 日本国内で津波を観測した地点  
 ※ 港)は国土交通省港湾局、国)は国土地理院の所属であることを表す。